



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

バイオバンクと「血液バイオマーカーを用いた認知症検診モデルの構築」研究にご同意いただいた方で認知症、軽度認知症と診断された方、認知機能正常の方

【研究課題名】

血液バイオマーカーを用いた認知症検診モデルの構築

【研究責任者】

大町 佳永（国立精神・神経医療研究センター 病院 司法精神診療部）

【本研究の目的及び意義】

血液バイオマーカー（血液検査により脳のアミロイド β の蓄積度や神経障害の程度等を推測する指標）を用いた高齢者検診のニーズが高まっていますが、科学的エビデンスを蓄積し、倫理的な問題も解決した上で社会実装を進めていく必要があります。本研究では、認知機能検査（聞き取り検査、神経心理検査）と画像検査、血液バイオマーカーを組み合わせで診断を行い、認知症リスクの推定が可能かどうかを検証します。さらに、血液バイオマーカーを活用した認知症検診システムのモデルを構築し、有用性を実証します。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2027年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

国立長寿医療研究センター

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)